

■ルーマニア：Cernavoda 原子力発電所が送電線トラブルで解列

2017年1月6日付の現地報道によると、悪天候に伴う送電線トラブルにより、Cernavoda 原子力発電所の2ユニットのうち1ユニットが系統への接続を中断した。解列は自動的に行われ、発電機はそのまま低稼働状態へ移行しており問題はないとしている。このユニットは2016年11月にも同様の理由から3日間解列している。これに対し、国営原子力発電事業者の Nuclearelectrica は2016年12月、6,600万ドルを投資して設備の補修・更新を進め、設備寿命の延命化措置に関する調査を行うことを表明している。